

平成30年7月豪雨災害



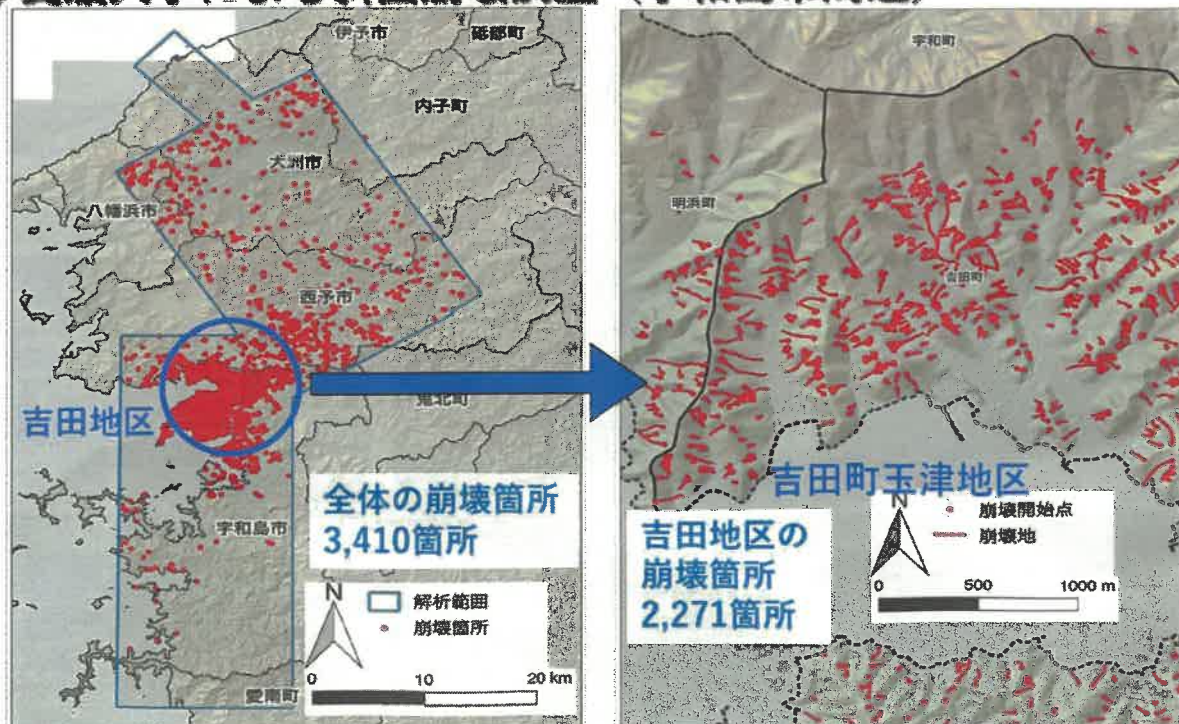
3

2025.7.26 西条市大町連合自治会防災研修会

平成30年7月豪雨災害



◆愛媛大学による斜面崩壊調査（宇和島市周辺）



平成30年7月豪雨愛媛大学災害調査団（地理学グループ）：平成30年7月豪雨による愛媛県の斜面崩壊分布図（2018年8月3日）

2025.7.26 西条市大町連合自治会防災研修会

平成30年7月豪雨災害



宇和島市は平成30年7月豪雨により、13名のかげがえのない市民の命を失う（災害関連死含む）とともに、約1ヶ月間にわたる断水や、本市の基幹産業である柑橘をはじめとする生業に大きな被害を受け、希望までもがそぎ取られるような瞬間を経験しました。



人的被害	人数
死亡（直接死）	11人
死亡（関連死）	2人
負傷者	29人

住家被害	件数
全壊	61件
大規模半壊	116件
半壊	805件
一部損壊	798件
合計	1,780件

区分	被害状況
水道（断水）	6,568戸・15,317人 最大値
電気（停電）	8,223戸 最大値
道路	420箇所 最大値
河川	557箇所 最大値
小・中学校	6校 浸水・土砂流入被害
保育園	10施設 浸水被害

避難所（最大値） 2018年7月8日14時時点	合計
避難所数	41箇所
避難世帯	628世帯
避難者	1,149人

5

2025.7.26 西条市大町連合自治会防災研修会

平成30年7月豪雨災害



特に愛媛みかんの発祥の地であり、柑橘生産の主要産地である吉田地区が最も被害が大きく、斜面崩壊や土石流により園地や農道、ため池、モノレールなどの農業用施設にも甚大な被害が発生したほか、大量の土砂が海に流出したことにより、水産業にも影響を与えました。

また、豪雨による浸水や土砂災害により多くの事業所で店舗や生産設備が被災するなど、商工業者の事業活動にも大きな影響を及ぼし、産業被害額は合計で約278億円（推計）となりました。



◆産業被害の状況

区分	被害額（推計）
商工業	24億2,561万円
農業	209億7,398万円
林業	42億4,783万円
水産業	2億2,858万円
合計	278億7,600万円

農業施設の被害状況	
農地	814箇所 238.35ha
農道	664箇所
ため池	49箇所
用水施設及び水路	244箇所
モノレール	667件 総延長39,270m

2022年4月30日時点

6

2025.7.26 西条市大町連合自治会防災研修会